

東京都が発行する「東京グリーンボンド」への投資について

JA 福岡京築（代表理事組合長 時本 数章、以下「当 JA」という）は、このたび、東京都が発行するグリーンボンドへの投資を決定しましたので、お知らせします。

「グリーンボンド」とは、「環境債」とも呼ばれ、環境事業に要する資金を調達するために発行される債券です。

東京グリーンボンド発行による調達資金は、気候変動への適応、生活環境の向上に関連した事業等に充当される予定であり、国連の持続可能な開発目標（SDGs）^{注1}の達成に貢献します。

近年、環境に配慮した取組が重要視される流れをうけ、世界規模で企業や自治体等が環境事業に要する資金を調達するためグリーンボンドの発行を年々増加させています。

当 JA は『地域の「農」を育む活動を通じ、地域に笑顔と元気を発信します』を基本理念としていることから、社会の一員として、持続可能な社会の実現に積極的に貢献したいと考えています。

持続可能な開発目標の目線から、率先して政策を推進している東京都への投資が国内グリーンボンド市場の更なる活性化と金融分野からの持続可能な開発目標実現に寄与し、地域経済の発展に繋がっていくことを期待しております。

当 JA は今後も適切なリスク管理のもと、SDGs 債への投資を通じて持続可能な社会の実現に貢献できるよう協同組合としての社会的使命・役割を果たして参ります。

注1）持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと